

新たな歴史に向かって

鳳エリア建替え運動の道

(21)

耳原鳳病院の思い出

現在、耳原鳳クリニックの往診部で訪問診療に従事している医師の石橋と申します。今回、クリニックの新しく建て替える際に思いを書かせていただきました。

卒業後、5年間の研修を経て耳原総合病院に産婦人科医として就職して40年を超えました。概ね総合病院で20年、鳳クリニックで24年目に入ると思っています。



前列左から3人目が石橋先生

緯は総合では産婦人科を専門で診療してまいりました。

しかし、50歳を前にして将来を考えた時、私は山口県の萩市の田舎で生まれ育ったこともあり、またそのころ趣味が海釣りでしたので、釣りができる田舎に行こうかと思いついた。そのためには内科が必要と考え、産科をやめて内科研修をいたしました。その後、当時の耳原鳳病院に異動となりました。

約24年前の鳳病院には回復期リハビリ病棟と療養型病棟がありました。急性期病棟はなかったと思います。鳳子ども診療所も併設されていて、ここに往診の機能がありました。夜診も3単位あり、賑わっていた印象です。病院の建物はすでに古く、婦人科のあった7診は建増し部分で特に狭く感じました。

私の勤務は婦人科外来を軸に、療養型病棟勤務と当直、居残り、早出、葉外来、急患担当、子ども診から在宅、検診、内科外来、夜間拘束と様々で、当直医不足で病棟が閉鎖されてからは老健にも関わり、様々な分野の役割を担いました。

仕事に関しては、医療の幅が広がり、仲間も増えて楽しかったです。そしてある時期から婦人科外来と訪問診療の二本立てで、最近訪問診療のみとなりました。

鳳にきた当初、一番戸惑ったことは男性を診察すること、自転車通勤しており、そのころは賑わっていた鳳商店街を通り抜ける時、こんな明るい内に帰宅する違和感というか罪悪感がありました。ゆっくり景色を見ながら帰宅するのにはしばらくかかりました。

（次回へ続く）
（耳原鳳クリニック 石橋 秀生）

癒しと安らぎの環境フォーラム コンセプトを大事に取り組んだ 病院のアートが表彰されました



授賞式の様子
（右端が河原林病院長）

耳原総合病院 病院長 河原林 正敏

昨年12月8日（日）、東京赤坂サントリーホールにて「癒しと安らぎの環境フォーラム」が開催されました。毎年表彰式とチャリティコンサートが執り行われ、今年度耳原総合病院が「癒しと安らぎの環境賞」を授与されました。

新病院建設計画の少し前から始まり既に10年を超える私たちのホスピタリティを高く評価していただきました。とても光栄な機会でした。

ここまでに本当に多くの方々を支えていただきました。中でも先駆的にアートに取り組んでくれた当院のアート活動にも数々のご助言をくださった四国こどもとおとなの医療センターのみなさんと、奇しくも今年度一緒に受賞することとなり、ともに喜び合うことができました。

そして何よりもコンセプトストーリーを大事にしながら取り組んできた当院のアート活動において、医療に寄せる思いを語り作品に作り上げてくれた、医療現場のスタッフ、友の会の皆さん、アートセフションのメンバーに改めて感謝したいと思います。

友の会の皆さん、職員の方々とともに取り組んできたアートの活動が顕彰されました。恥ずかしながら、私は受賞の知らせを受けて初めて顕彰という言葉に触れました。その意味を調べると、顕彰とは「隠れているよいことを明らかにあらわす」という意味。当院はいわゆる「良いこととしてますね」と言われることを、戦略的に活かして広報するのが得意ではないように思うので、私はこの言葉が何よりも嬉しかったのです。これまで様々なアート活動に関わってくださった皆さんの方々と、お一人おひとりと顕彰された喜びを分かち合いたいと思います。

みみはらコミュニティタウン コミュニティ棟オープンに むけたプロジェクトのまとめ

私たちみみはらグループは、これまでも保健・医療・介護を複合的に提供し、地域のいのち、健康、暮らしを守り支えてきました。

地域や社会が変化する中でこれらを見据え、より「安心して暮らし続けられるまちづくり」へ貢献していくにはどうしたらよいか。その一つとして今年4月に社会福祉法人ひまわり会による有料老人ホーム、看護多機能施設、その隣のコミュニ

二ティ棟には3階・4階に事業部が入り、1・2階には待望のコミュニティスペースが完成します。

ゼロからの新しい取り組みとなるため、2023年8月に大仙西コミュニティ棟建設プロジェクト会議を立ち上げ、本事業の「意義」を2024年12月までのべ20回にわたり、メンバーの皆さんで議論を重ねてきました。

2023年12月
図面を見ながら、「ス

「こんなことができそう」を出し合いました。

2024年3月
自分がいきたくなる場所・自分のリソース（資源）を出しあうワークショップを開催。

2024年4月
近隣の安井・東西・大仙西支部から地域の現状を説明いただきました。

「コーヒーの喫茶店、本が読めるところ、なじみのお店、公園、自然が感じられるところ、など資源・料理できまます、車出せまます、福祉の相談乗れます、表現できます、ものづくり系、つながり系、着付けできまます、など」



図面を広げてイメージ

その後昨年12月まででいったんプロジェクト会議は終わりましたが、引き続きみんなのコミュニティスペース「みみはら」にしていきたいと思えます。もう完成は間近です、ぜひ仲間になってくださいね。

「くらし」に近い場

その後昨年12月まででいったんプロジェクト会議は終わりましたが、引き続きみんなのコミュニティスペース「みみはら」にしていきたいと思えます。もう完成は間近です、ぜひ仲間になってくださいね。

「くらし」に近い場

「くらし」に近い場

「こんなことができそう」を出し合いました。

自分がいきたくなる場所・自分のリソース（資源）を出しあうワークショップを開催。

近隣の安井・東西・大仙西支部から地域の現状を説明いただきました。

「くらし」に近い場

「くらし」に近い場

「くらし」に近い場

「くらし」に近い場

「くらし」に近い場

「くらし」に近い場

「くらし」に近い場